

# 2025年度

## 東京大学医学部附属病院卒後臨床研修プログラム

### 1. プログラムの名称

東京大学医学部附属病院卒後臨床研修プログラム

### 2. 研修理念

東京大学医学部附属病院卒後臨床研修は、医療及び医学の分野において指導者たる医師となるための礎を築くこと、すなわち、優れた指導者と充実した環境の下で医師としての人格を涵養するとともに、基本的な診療能力を習得し、研修医が将来医療及び医学において自らの果たす役割を明確にすることを目的とする。

### 3. 研修目標

- (1) 医師としての基本的な技能・知識・態度を身につける。
- (2) 患者の課題を的確に把握し、置かれた状況に応じて最適な医療を選択できる
- (3) 患者や他の医療従事者と十分な意思疎通を行える
- (4) 医療安全の意識を身につけ、実践する。
- (5) 将来自らが目指す医師像、医師としての方向性を明確にする。
- (6) 研修を通して将来の医療及び医学を追究できる医師を目指す。

### 4. 定員

プログラムの総募集定員は96名である。各プログラムの定員は以下の通り。

Aプログラム 55名

Bプログラム 37名

将来の希望科を1年目から重点的に研修することが可能な以下の重点プログラムを設置

小児科重点プログラム 2名

産婦人科重点プログラム 2名

### 5. 研修計画

研修期間は2年間とする。本院のみで行う方式（Aプログラム）と基幹型臨床研修病院と協力型臨床研修病院間で研修を行う「たすきがけ型方式」（Bプログラム）とがある。各年度の診療科ローテーションの順番は研修医によって異なる。

- 1) Aプログラム（各年度内での順番は研修医によって異なる）  
1年目・2年目とも東大病院で研修する。

1年目：東京大学医学部附属病院

内科 6ヶ月 (24週)	外科 2ヶ月 (8週)	麻酔科 2ヶ月 (8週)	選択 2ヶ月 (8週)
--------------------	-------------------	--------------------	-------------------

2年目：東京大学医学部附属病院・協力施設

救急科 2ヶ月 (8週)	外来 1ヶ月 (4週)	地域 医療 1ヶ月 (4週)	小児科 1ヶ月 (4週)	産婦 人科 1ヶ月 (4週)	精神科 1ヶ月 (4週)	選択 5ヶ月 (20週)
--------------------	-------------------	-------------------------	--------------------	-------------------------	--------------------	--------------------

※1年目の「選択」については、2ヶ月ずつローテーションすることを原則とするが、2年目の「必修（小児科・産婦人科・精神神経科・救急科）」を選択する場合には1ヶ月ずつ（救急科のみ2ヶ月も可能）研修することができる。1年目の「選択」において「必修（小児科・産婦人科・精神神経科・救急科）」を選択した場合には、2年目の「必修」を研修医の希望する研修科に替えることができる。

1・2年目の選択科については、いずれも将来の診療科も考慮に入れ、研修科を決定する（適宜、東大病院プログラム責任者、総合研修センター教員のアドバイスも受けることができる）。

- 2) Bプログラム（各年度内での順番は研修医によって異なる）

1年目は協力型臨床研修病院で、2年目は東大病院で研修する。

1年目：協力型臨床研修病院

内科 6ヶ月 (24週)	救急科 または麻酔科 2ヶ月 (8週)	外科 2ヶ月 (8週)	選択 2ヶ月 (8週)
--------------------	------------------------------	-------------------	-------------------

2年目：東京大学医学部附属病院・協力施設

救急科 1ヶ月 (4週)	救急科 または 麻酔科 1ヶ月 (4週)	外来 1ヶ月 (4週)	地域 医療 1ヶ月 (4週)	小児科 1ヶ月 (4週)	産婦 人科 1ヶ月 (4週)	精神科 1ヶ月 (4週)	選択 5ヶ月 (20週)
--------------------	----------------------------------	-------------------	-------------------------	--------------------	-------------------------	--------------------	--------------------

※1年目は救急科あるいは麻酔科から合計2ヶ月研修する。1年目の協力病院での研修中に外来研修を並行して行った場合には、2年目の「外来」研修を研修医の希望する研修科に替えることができる。2年目救急科または麻酔科については、2年間で救急科2ヶ月以上、麻酔科1ヶ月以上になるように調整し研修する。1年目に協力病院で研修することになるが、1・2年目の選択科についてはいずれも将来の診療科も考慮に入れ、研修科を決定する（適宜、東大病院プログラム責任者、チューター（副プログラム責任者）、総合研修センター教員のアドバイスも受けることができる）。

### 3) 小児科重点プログラム

将来小児科医を目指す研修医のため、小児科研修に重点を置いたプログラムである。小児科医として最も大切な子どもに対するアプローチの仕方や知っておかなければいけない医療的知識、診断治療の考え方、そして救急処置などの必要な手技を2年間で効率良く習得する。小児外科、産科、こころの発達診療部、外部病院小児科での研修が可能であり、胎児・新生児から思春期までの子どもの身体と心を総合的に診療する能力を身につける。

1年目：東京大学医学部附属病院

内科 6ヶ月 (24週)	小児外科 2ヶ月 (8週)	小児科 (小児病棟) 2ヶ月 (8週)	小児科 (PICU) 2ヶ月 (8週)
--------------------	---------------------	------------------------------	------------------------------

2年目：東京大学医学部附属病院＋外部病院（協力施設）

救急 2ヶ月 (8週)	救急ま たは 麻酔 1ヶ月 (4週)	小児 外来/病棟 2ヶ月 (8週)	産婦 人科 1ヶ月 (4週)	こころ の発達 1ヶ月 (4週)	地域 医療 1ヶ月 (4週)	小児科 (外部) 2ヶ月 (8週)	小児科 (外部) 2ヶ月 (8週)
-------------------	--------------------------------	----------------------------	-------------------------	---------------------------	-------------------------	----------------------------	----------------------------

※1年目の「外科」は小児外科に替えて小児心臓外科も選択できる。2年目の「必修」救急に関しては、救急科あるいは麻酔科からいずれか1つを選択し1ヶ月研修する。また、精神科の研修は、こころの発達診療部において研修する。

2年目の4ヶ月間は協力病院で研修を行うが、研修医の希望とプログラム責任者との協議の上で東大病院の希望する診療科を選択して研修することができる。

### 4) 産婦人科重点プログラム

将来産婦人科医を目指す研修医のために、女性診療科・産科、女性外科での産婦人科研修に重点を置いたコースである。医師としての総合的な診療能力の獲得に加え、産婦人科医としての基本的な考え方、臨床能力を身につける。産婦人科は周産

期、生殖内分泌、腫瘍という3分野からなるため、それぞれ2ヶ月程度ずつ研修する。さらに周産期研修の一環として、新生児蘇生技術の習得を目標にNICUで2ヶ月研修する。救急科では産科救急事態に対応できる全身管理の習得を目指す。また、外部病院産婦人科での研修が可能である。

1年目：東京大学医学部附属病院

内科 6ヶ月 (24週)	外科 2ヶ月 (8週)	産婦 (産科) 2ヶ月 (8週)	産婦 (女性外科) 2ヶ月 (8週)
--------------------	-------------------	---------------------------	-----------------------------

2年目：東京大学医学部附属病院＋外部病院（協力施設）

救急 2ヶ月 (8週)	救急ま たは 麻酔 1ヶ月 (4週)	小児科 (NICU) 2ヶ月 (8週)	精神科 1ヶ月 (4週)	外来 1ヶ月 (4週)	地域 医療 1ヶ月 (4週)	選択 2ヶ月 (8週)	産婦 (外部) 2ヶ月 (8週)
-------------------	--------------------------------	------------------------------	--------------------	-------------------	-------------------------	-------------------	---------------------------

\*1年目の「外科」は大腸・肛門外科、乳腺・内分泌外科、泌尿器科、小児外科のうち、2診療科を選択し、1ヶ月ずつ研修を行う。2年目の「必修」救急に関しては、救急科あるいは麻酔科からいずれか1つを選択し1ヶ月研修する。

2年目の2ヶ月間は協力病院で研修を行う。

ローテーションの順番については調整の上で決定する。

\*研修中は必修または自由参加の講習会・セミナーが多数開催され、幅広い知識や技能の習得が可能である。

（講習会の例）

- ①CPC（臨床病理カンファランス）
- ②外科系セミナー（結紮・縫合実習等各種実習含む）
- ③検査部講習会（心エコー、腹部エコーハンズオン）等
- ④BLS、ALS講習会
- ⑤研究者育成プログラム等

## 6. 指導体制

### (1) 研修管理委員会

東京大学医学部附属病院長、総合研修センター長と各プログラム責任者、各協力型臨床研修病院、協力施設の各研修実施責任者及び事務部の責任者、外部有識者よりなる。

## (2) プログラム責任者

総責任者：東京大学医学部附属病院長 田中 栄

責任者：東京大学医学部附属病院総合研修センターセンター長 江頭 正人

各プログラム正責任者：

A プログラム 江頭 正人

B プログラム 木村 光利

小児科重点プログラム 加藤 元博

産婦人科重点プログラム 平池 修

## (3) 指導医

指導医は臨床経験 7 年以上で、プライマリケアの指導を充分行える能力を有し、指導時間を十分に取れる者とし、指導者研修を受講していること等の要件を満たした者である。本プログラムの指導医は、研修管理委員会で認定した者である。

## (4) チューター（副プログラム責任者）

本プログラムで研修中に様々な指導・助言を与えるチューター（副プログラム責任者）を研修医 20 人につき 1 名の割合で担当する。チューター（副プログラム責任者）は面談等により定期的に研修医ごとの臨床研修の目標の達成状況等の把握を行い総合研修センターにその結果を報告する。

## 7. 参加施設

基幹型臨床研修病院	東京大学医学部附属病院
協力型臨床研修病院	慶應義塾大学病院等
協力施設	診療所等

## 8. プログラムの管理運営

東京大学医学部附属病院長を最高責任者とし、研修に当たっては総合研修センター長並びに各プログラム責任者は協力型臨床研修病院及び協力施設の各研修担当責任者と緊密に連絡を取り、研修プログラムの問題点の検討、再評価と各研修医並びに研修指導医の研修並びに評価を行う。

## 9. 評価方法

各ローテーションにおける具体的な到達度の評価は、PG-EPOC（卒後臨床研修医用オンライン臨床教育評価システム）を用いる。また、指導医に加え、他の職種から医師患者関係やチーム医療の実践などについての形成的評価を行う。

## 10. 研修医の処遇

東京大学医学部附属病院の研修中は、東京大学医学部附属病院の規程による報酬が支払われる。協力型臨床研修病院での研修中は、当該病院の規定による報酬が支払われる。社会保険等は厚生労働省の規定による。

東京大学医学部附属病院の研修中の処遇は次のとおりとする。

(1) 身分	非常勤職員
(2) 研修手当	1年次：1,549円/時（1,549円/時間×7.75時間/日＝12,000円/日） （基本手当/月 平均252,000円）
	2年次：1,613円/時（1,613円/時間×7.75時間/日＝12,500円/日） （基本手当/月 平均262,500円）
	賞与：有、時間外手当：有、住居手当：有
(3) 勤務時間	一週あたり38時間45分とし、勤務割振表による変形勤務
(4) 休暇	年次有給休暇：採用1年目10日、2年目11日 その他の休暇： 夏季指定休暇・リフレッシュ休暇・忌引・病気休暇等（有給）/産前産後休暇等（無給）
(5) 当直	有（診療科によります）
(6) 研修医の宿舍	有（単身者用、約70戸、敷地内）
(7) 研修医の共有部屋等	有（控室・仮眠室）
(8) 社会保険・労働保険	公的医療保険：全国健康保険協会管掌健康保険 公的年金保険：厚生年金 労働者災害補償保険法の適用：有 国家・地方公務員災害補償法の適用：無 雇用保険：有
(9) 健康管理	1年目は採用時健康診断を受診 2年目は職員健康診断を受診
(10) 医師賠償責任保険	病院において加入する 個人加入は任意
(11) 外部の研修活動	学会、研究会等への参加：可 学会、研究会等への参加費用支給の有無：原則無
(12) その他	アルバイト・兼業は禁止する

## 11. 研修医の募集と選抜

毎年募集要項を公表し、それに基づいて募集し選抜する。募集については、マッチングシステムに参加登録する者を対象とする。選抜は、書類審査、筆記試験、面接試験で行う。

## 12. 日本医療機能評価機構の病院機能評価

財団法人日本医療機能評価機構の病院機能評価について機構の定める認定基準を達成していることが認められ、2020年6月5日付けで、認定証が交付された。

認定期間：2020年1月24日～2021年1月31日

認定証発行日：2020年6月5日

認定病院種別：一般病院3

認定番号：認定第JC384-4号

## 13. 連絡先

〒113-8655

東京都文京区本郷7-3-1

東京大学医学部附属病院 総合研修センター

電話：03-5800-8608、FAX：03-5800-8725

e-mail：[soken@adm.h.u-tokyo.ac.jp](mailto:soken@adm.h.u-tokyo.ac.jp)

URL <http://www.h.u-tokyo.ac.jp/soken/top.html>